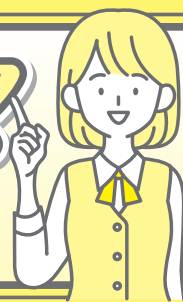


各委員会の

年間調査テーマ

4つの委員会では、以下のテーマについて、1年間、調査・研究を行い、その成果を活かした提言を市に行っていきます。



議会運営委員会

議会改革について



近年の複雑化・多様化する市民課題について、閉会中のテーマとして継続的に調査・研究を行う場合、単年度で委員が改選されるため、十分な成果につながりにくいという課題があります。議会改革として、委員の任期を複数年とした場合、調査の継続性や政策提言の充実につながるなどのメリットがありますが、当委員会ではメリットとこれにより発生する課題の両面から適切な委員の任期について検討していきます。また、通年議会制度も視野に入れ、議会機能の強化についても検討していきます。

総務委員会

大規模地震を見据えた災害対応体制の強化について



大規模地震の発生直後、行政には膨大な業務が集中しますが、限られた人員で迅速かつ的確に対応することが求められます。また、被害の範囲が広域となる災害においては、人的・物的支援がすぐに届かない可能性も想定されるため、平時から実効性の高い備えをしておくことが重要となります。当委員会では、市民の皆様の安全・安心につながる災害対応体制の充実に向けて、市役所内の具体的な行動体制や災害時の備蓄のあり方などについて調査研究を行っています。

文教厚生委員会

教育現場における情報モラルについて



近年、学校では、児童生徒によるSNS等での誹謗中傷や個人情報流出などの問題が生じてきたため、従来の情報モラル教育から主体的で責任ある行動を育む、デジタルシティズンシップ教育に転換していく必要があります。また、他の自治体では、教職員によるスマートフォンを悪用した事案も発生しており、教職員の情報モラルについても見直す必要があります。当委員会では、先進自治体などを調査研究し、学校での情報モラルに配慮した安心安全な環境について考えていきます。

建設産業委員会

赤レンガ建物を核とした滞在型観光と地域経済循環について



半田赤レンガ建物は開館から11年が経過し、維持管理コストの増加に加え、これまでのイベント中心の運営にも限界が見えるなど、運営における転換期を迎えています。当委員会では、半田赤レンガ建物単体ではなく、敷地全体を一体的に捉えた利活用を前提に、来場者の滞在時間延長や飲食・物販の充実など現状の課題を整理しつつ、先進事例を参考に半田赤レンガ建物が地域経済を支える拠点となるための今後のあり方を考えていきます。